

オオナガレトビケラ

Himalopsyche japonica (Morton)
トビケラ目・ナガレトビケラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

今回の調査で奥越で確認された。今回の記録がメッシュを特定できる県内初の記録であり、生息環境を考慮すると今後も注視が必要である。

分 布

本州と四国、台湾に分布。近畿以西では分布は局地的。本県では嶺北の山間部に生息する。

種の特徴

大型種で、終齢幼虫の体長は15～37mm、成虫の前翅長はオスで16～23.5mm、メスで22～26mm。幼虫は中胸～腹部第8節側面に特徴的な総状鰓を持つ。山地溪流の大岩が積み重なるような激流に生息している。

生息を脅かす要因

森林伐採等による溪流の環境変化の影響が懸念される。

参考文献 環境省 (2015)、川合・谷田 (2005)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ハイロボクトウ

Phragmataecia castaneae (Hübner)
チョウ目・ボクトウガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内では三国町の1地点で近年は記録があるのみだったが、今回新たに2地点で確認された。湿地に生息し、全国的に個体数が減少していることから、本県でも引き続き注視の必要がある。

分 布

北海道～九州の湿地に局所的に分布。県内では従来、坂井市三国町池見の九頭竜川河川敷で最近の記録があり、今回、坂井市春江町内、あわら市北潟でも確認された。

種の特徴

開張35～38mm。翅全体が褐色身を帯びた灰色。湿地に生息し、幼虫はヨシを食する。成虫は年1回、6～7月に出現する。

生息を脅かす要因

湿地開発に伴うヨシ原とその周囲の環境変化が脅威となる。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、広渡ら (2013)、環境省 (2015)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○		○				

アシナガモモブトスカシバ

Macroscelia longipes (Moore)
チョウ目・スカシバガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧II類

選定理由

県内では2004年に日野川河川敷で記録された。県内での生息に関する情報は不足しているが、河川改修等の影響で全国的に生息環境が悪化している。本県でも調査の継続により生息状況の把握が必要である。

分 布

本州、九州に分布。県内では福井市深谷町の日野川河川敷で確認されている。

種の特徴

開張オス18～24mm、メス19～28mm。後脚 節は非常に長い。前翅は細長く、透明で外縁は黒色。中央付近に黒い斑紋がある。後翅は透明。年2回、6～10月上旬までみられる。食草はゴキツルで、その茎に虫こぶを作る。

生息を脅かす要因

土地造成、河川改修、湿地開発等が脅威となる。県内の生息状況に関する情報は不足しており、調査の継続が必要である。

参考文献 環境省 (2015)、広渡ら (2013)、下野谷 (2004)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○